

檄

第50回衆議院選挙の投開票日まで残すところ2日となった。

自治労福島県本部の組合員の強固な団結とこれまでの「反自民・非共産」の政治方針を改めて確認し、1区「かねこ恵美」、2区「げんば光一郎」、3区「おぐま慎司」、4区「斎藤ゆうき」、比例区「立憲民主党」の勝利を何としても勝ち取り、立憲民主党を中心とした「中道・リベラル」勢力を拡大しなければならない。

石破政権による党利党略のための今次総選挙は、長らく続く自民党1強政治に終止符を打ち、民主主義、立憲主義、平和主義を守る極めて重要なたたかいである。

県本部は、第115回定期大会で、ゆるぎない方針を確立し、勝利への取り組みを確認した。

裏金事件の逆風を受ける自民党の公示前勢力からの減少、石破首相が勝敗ラインとしている与党過半数をめぐる攻防、立憲民主党の公示前勢力の拡大が報じられているが、県内選挙区は何れも接戦となっており、楽観できる状況にはない。

残された2日間、それぞれの候補者の勝利を確実なものとするためには、改めて県本部方針の徹底と支持を着実に積み上げる以外に方法はない。

第50回総選挙、全ての推薦候補者の勝利にむけ、最後まで頑張ろう！

2024年10月25日

自治労福島県本部

中央執行委員長 澤村英行